

設置マニュアル Installation Manual

アンダーカウンタービルトイン専用

冷凍庫 SUFNh 3653 Prime
冷蔵庫 URh 3600 Pure

最新版マニュアルのダウンロードはこちら



- 人への危害、財産の損害を防止するため、本書に記載されている事項を必ずお守りください。
- 設置・および施工において、本書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。
- お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガの恐れがあります。据付・設置は必ずお買い求めの販売店までご依頼ください。

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置および施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。

誤った使い方をしたときに生じる内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。



警告



注意

「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で専用に設けてください。
- 電源プラグ周辺のほこりなどは定期的に取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。
- 長期間使用しないときやお手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
- 異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。



- 濡れた手で、電源プラグに触らないでください。
- 電源プラグを、冷蔵庫の背面で押し付けしないでください。
- 電源プラグやコードを破損するようなことはしないでください。
- 本体や電源コードに水をかけないでください。
- 冷蔵庫の周囲は、必ず必要な放熱スペースを守ってください。
- 冷蔵庫の上には、絶対にものを置かないでください。
- 延長コードを使用しての設置はお控えください。
- 本製品は一般家庭専用です。業務用、或いは屋外や戸外でのご使用はお控えください。



アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

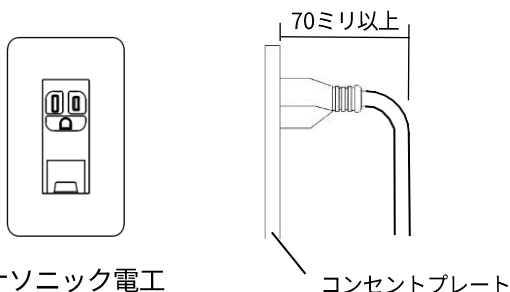
設置スペースと電源に関する注意

設置について

- 本機器はキッチンキャビネットへのビルトイン専用です。
- 機器を設置する床面と機器前面の床面は、必ず水平・同レベルに仕上げてください。

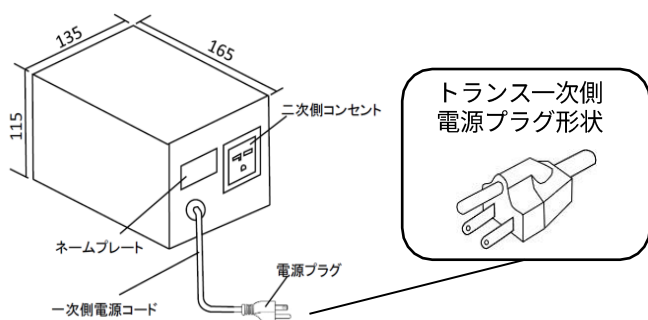
一次側電源コンセント

1. 定格 15A以上、单相100Vの専用回路を設けてください。
2. アースターミナル付接地コンセントを設けてください。
3. 一次側コンセントは必ず接地コンセント(3P)をご用意ください。



パナソニック電工
品番：WN1131（相当品）

昇圧トランス



【100V → 220-240V 昇圧トランス仕様】

- 外形寸法 (W x D x H) : 135×165×115 mm
- コード長さ : 1.7m
- 定格容量 : 600VA
- 入力 : 单相100V・50/60Hz

注意

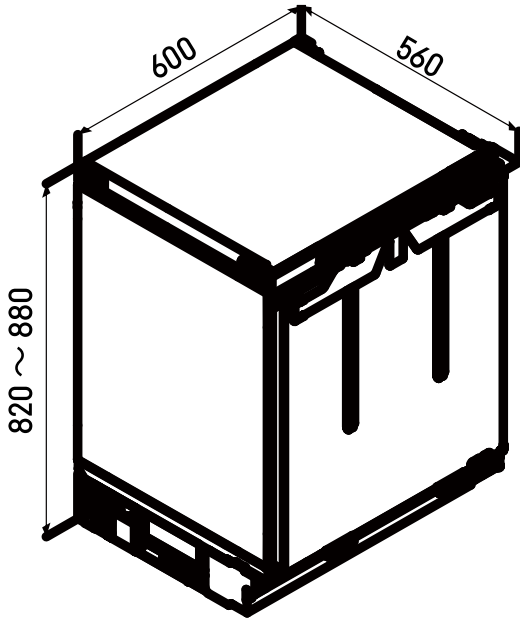
- 本機器の周辺適用外気温（室温）：10°C ~ 43°C
- 機器は、暖房・温熱器具等からの熱気や直射日光の当たらない場所、湿気が少なく風通しの良い場所に設置してください。
- 通気が悪く湿気の高い設置環境では、機器の表面に結露が発生することがあります。
- 電源コンセントは、機器の仕様、定格電流にあったものをご用意ください。
- 昇圧トランスの仕様を参照の上、設置スペースをご用意ください。
- アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

同梱物

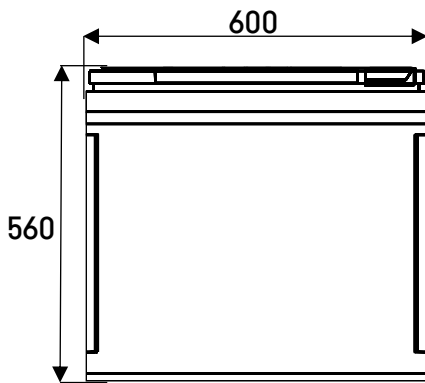
- キャビネット固定ブラケット × 2
- ベースパネル固定ラッチ × 2
- ドア固定金具カバー × 1
- 高さ調整ボルト × 1
- 高さ調整ボルト用アタッチメント × 1
- 固定金具カバー × 2
- ドア材上側固定ビス × 6
- ドア材下側固定ビス × 4
- キャビネット固定ビス × 2
- 吊元下カバー × 1

機器の設置

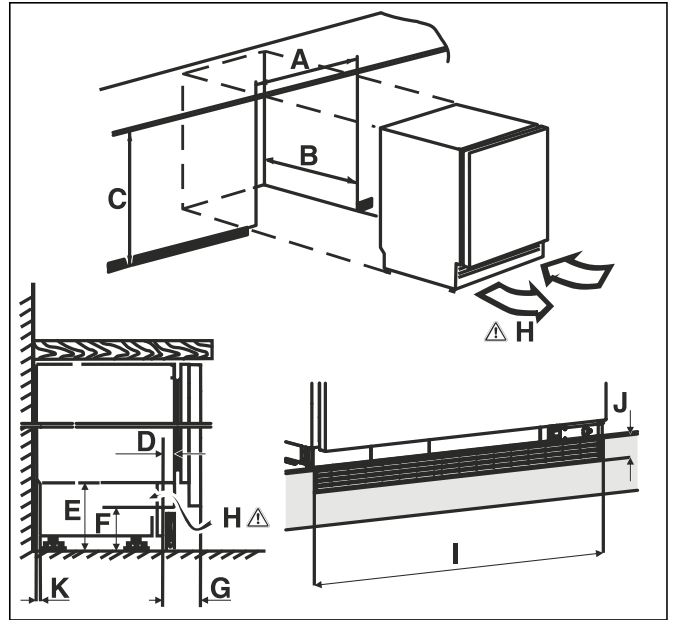
製品本体寸法（縦横高さ）



製品本体寸法（天面図）



設置時の有効寸法



A	600mm
B	min. 560mm
C	820mm ~ 880mm (機器脚部分で高さ調節可)
D	11mm ~ 66mm (給気グリル前後調節可)
E	100mm ~ 160mm (機器脚部分で高さ調節可)
F	54mm ~ 109mm (機器脚部分で高さ調節可)
G	45mm ~ 100mm (給気グリル前後調節可)
H	150cm ² ※
I	600mm
J	40mm
K	18mm

※ 給気グリルは絶対に塞がないでください。
冷却性能の低下・機器の破損の原因となります。

機器の設置

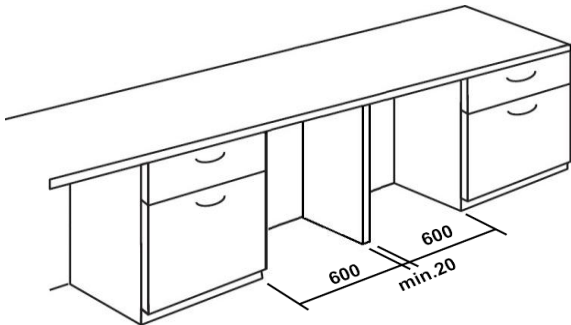
設置開口スペースについて

トラブルや機器へのダメージを防ぐため、次の事項を必ずお守りください。

1. 機器を設置する床面は水平で、その前面部とは同一面（フラット）にしてください。
2. キッチンユニットが水平で垂直であることを確認してください。

機器の並列設置について

- 機器同士を並べて設置する場合、機器同士の間に20mm以上の仕切り板が必要です。
- ※ 仕切り板が無い場合は結露が発生する可能性があります。
- なお、SUFNh3653と他アンダーカウンターモデルを並べて設置する場合は、仕切り板は不要です。（例：SUFNh3653とURh3600の並列設置）



使用工具

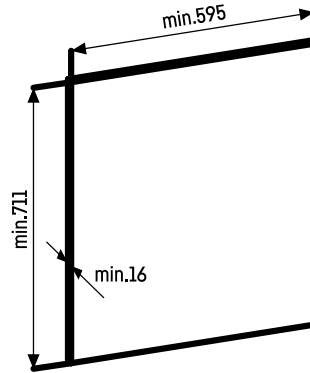


⚠ 注意

電源コンセントを機器の背面には設けないでください。容易にプラグを抜き差しできる場所に設けてください。

機器の水平の調整方法

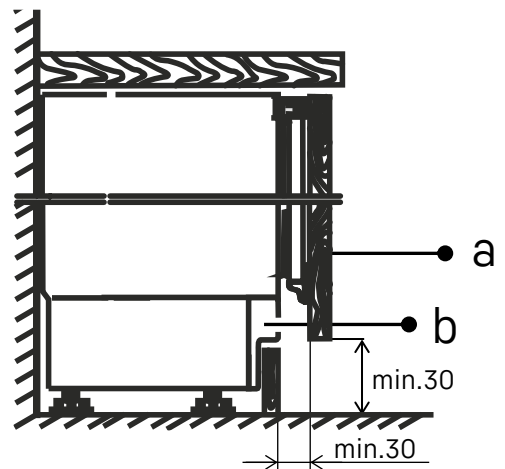
ドア材寸法



ドアの造作について

- ドア材の厚みは16 - 19mmの範囲内で設計してください。
- ドア材の許容重量：10kg
- ドア材の設計ワイド寸法：ドア材のクリアランス（目地）を**最小4mm**確保してください。
- 設置時はキャビネットとドア材の干渉の有無を確認し、必要に応じてドア材の調整を行ってください。

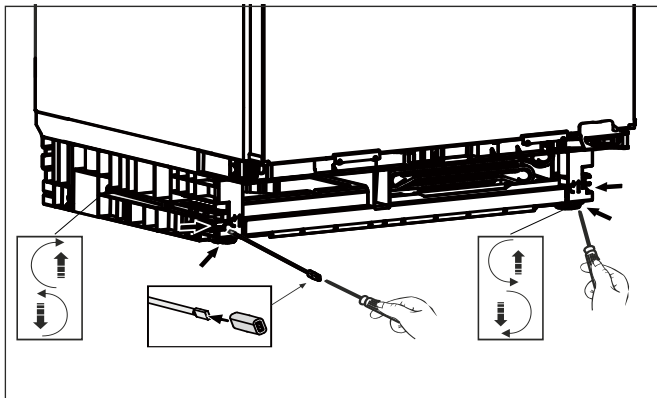
給排気スペースの確保



- 「a」のドア材の下端は、床面より**min. 30ミリの**クリアランスを取ってください。
- 中木材は「b」のプリンスパネルに貼り付け、中木材表面とドア材の裏面の距離は必ず**min. 30ミリの**クリアランスを取ってください。

機器の設置

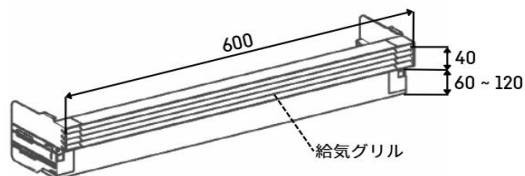
機器の水平の調整方法



- 調整脚（前側）：
マイナスドライバーを調整脚の溝に差し込み、左右に回転させ、機器の高さを調整します。
（右回転：下降 左回転：上昇）
- 調整脚（後側）：
高さ調整ボルトにアタッチメントを取り付け、トルクスを差し込みます。
その状態で矢印方向にボルトを差し込み、左右に回転させ、機器の高さを調整します。
（右回転：上昇 左回転：下降）
- 水平器で確認を行いながら、本体が水平になるように調整してください。

■ 高さ調整ボルトとアタッチメントは、機器の調整やメンテナンスで必要になりますので**必ず保管してください。**

給気グリルについて

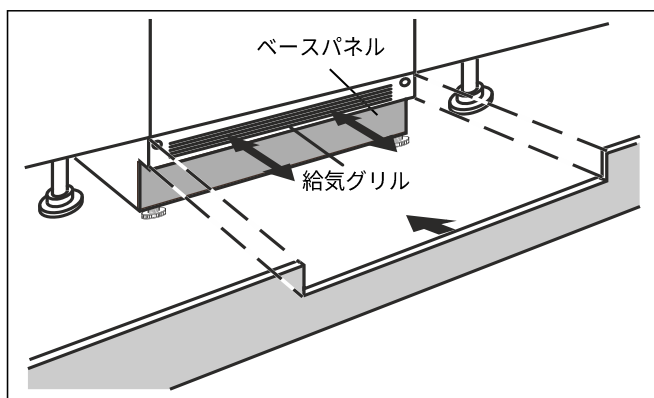


- 本機器は、製品本体前面に給気グリルが装着されています。
- 巾木材は製品幅600ミリ、本体設置床部分から給気グリル下面の高さ60～120ミリにあわせて作成してください。

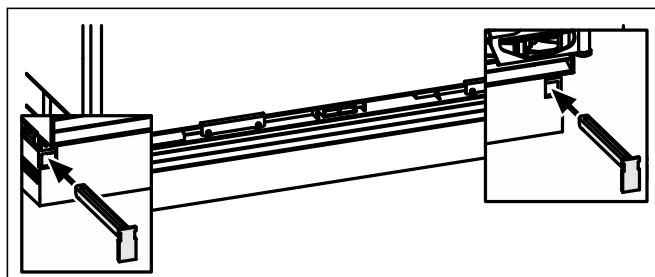
⚠ 注意

給気グリルは絶対に塞がないでください。
冷却性能の低下・機器の損傷の原因となります。

巾木材の取り付けについて



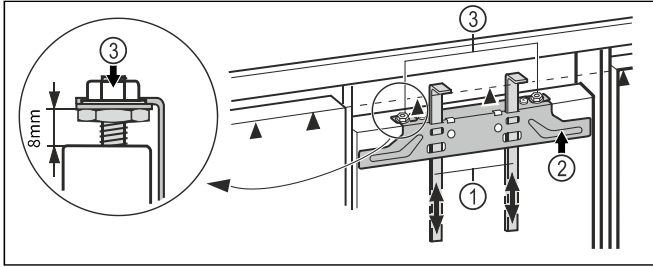
- 本体ドアと巾木を仮設置して製品の収まりを確認します。
- ベースパネル部分が見える場合は、巾木の位置を前後に適宜調整してください。
- 巾木が給気グリルに干渉していないことを確認してください。（干渉している場合は巾木をカットして調整してください。）



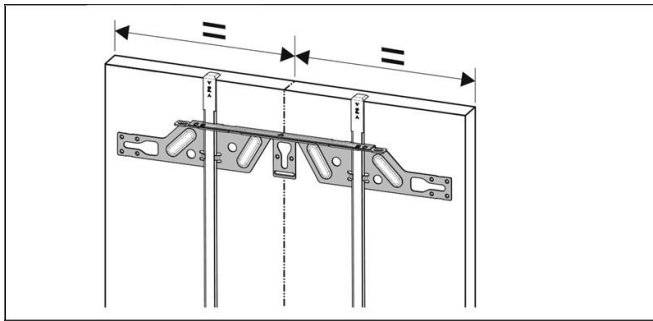
- 本体ベースパネルを固定します。
- ベースパネルを押さえながら固定用ラッチを差し込んで本体ベースパネルを固定してください。

機器の設置

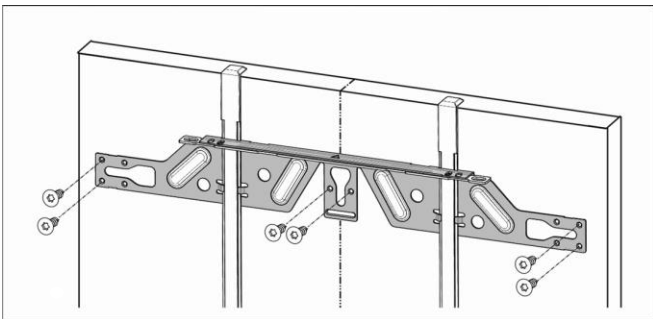
ドア材の取り付け方法



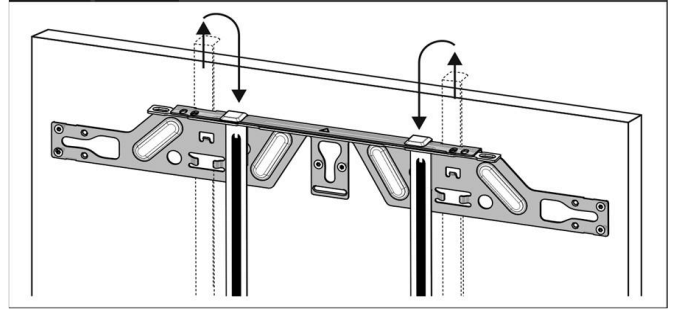
- ドア材にハンドルを取り付けてください。
- 金具下端と本体ドア上端までの距離が8ミリあるか確認します。
- ガイドレール①を伸ばして、ドア材の上端位置に合わせます。
- ナット③を緩めて、固定金具を取り外します。



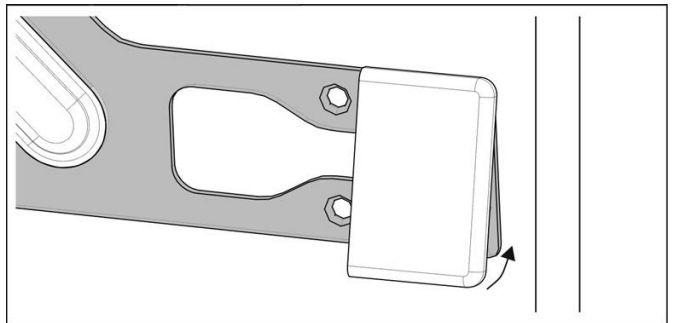
- ドア材の裏面上端に固定金具を掛け、センターを確認します。
 - 固定金具のセンターとドア面材の両端の距離が同じになるように、固定金具の位置を調整します。
- ※ 戸先側にドア面材を伸ばしている場合は、その寸法を考慮して、位置を合わせてください。



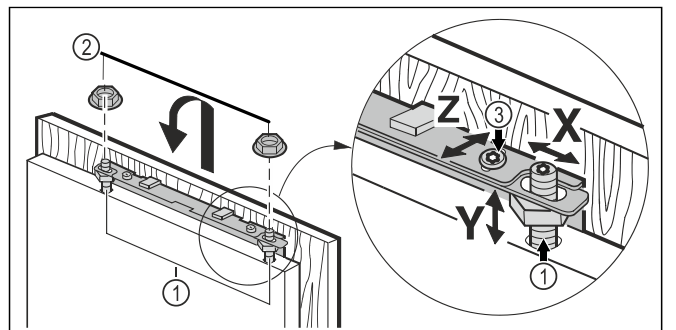
- ドア材上側固定ビスを使用し、固定金具とドア材をビス留めします。



- ガイドレールを上方向に引き抜き、向きを反対側にして内側のスロットに差し込みます。
(※ガイドレールは保管用になります。)

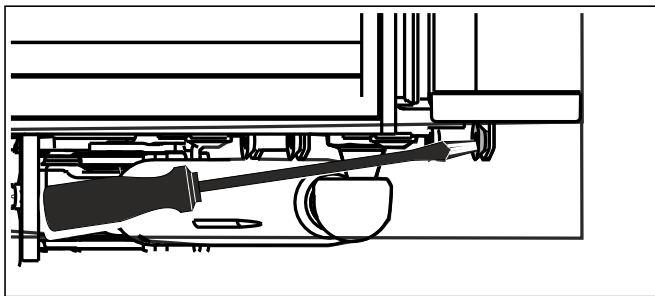


- 固定金具の両端に固定金具カバーを取り付けます。

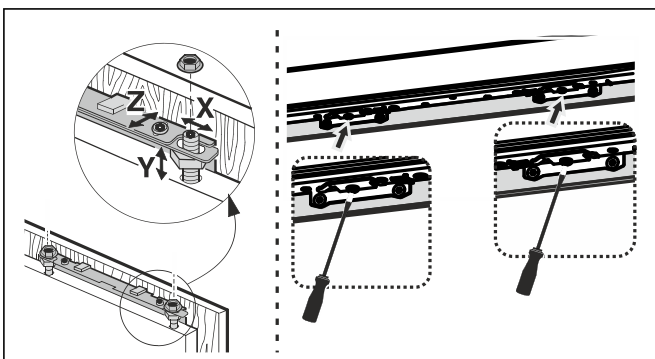


- ドア材を本体ドア上部のボルトに掛けてください。
- 固定用ナット②を軽く締めます。
- 隣接のキャビネットのドア位置を確認して、左右位置を合わせます。(X方向)
- 位置調整ボルト①でドア面材の上下位置と左右の傾きを調整します。(Y方向)
- 位置の調整が完了したら固定用ナットを締め込みます。
- 位置調整ビス③を緩めてドア材の前後位置を調整します。(Z方向)

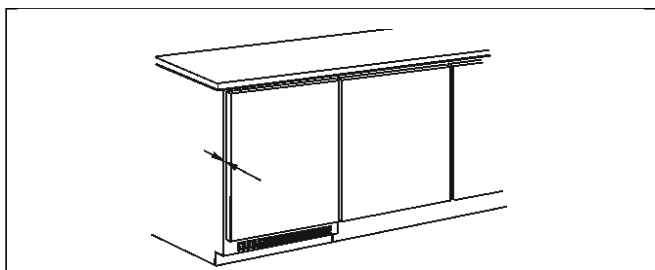
機器の設置



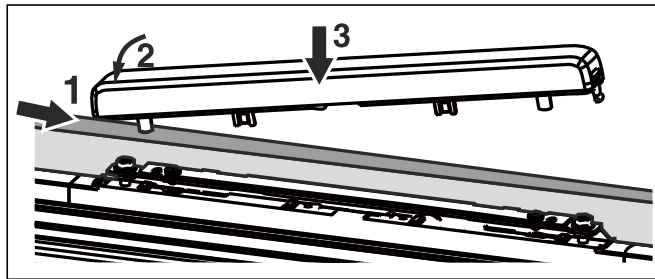
- 本体ドア下のブラケットとドア材をドア材下側固定ビスを使用しビス留めします。



- 再度ドア材の取り付け位置を確認し、必要なら固定金具の上部と下部のビスを緩めて位置を調整します。
- ドアがきちんと閉まるか確認してください。キッチンユニット側のパッキン等が干渉していないか必ず確認してください。

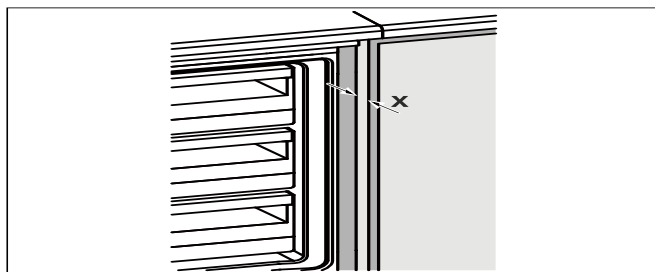


- ドア材とキャビネットが干渉しないようドア材とキャビネット本体の間は最低2mmのクリアランスを確保してください。



- 固定金具の上部にカバーを取り付けます。

機器の設置位置（奥行き）について

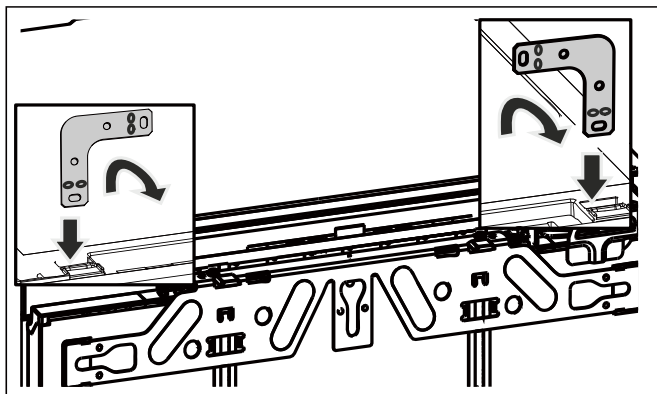


- 機器本体ドアとキャビネット木口の干渉を防ぐために、機器本体の設置位置（奥行き）は、本体ドアを開いた状態で、機器の両側板木口面から機器本体前面までの距離Xが左右ともに41.5mmになるように調整してください。

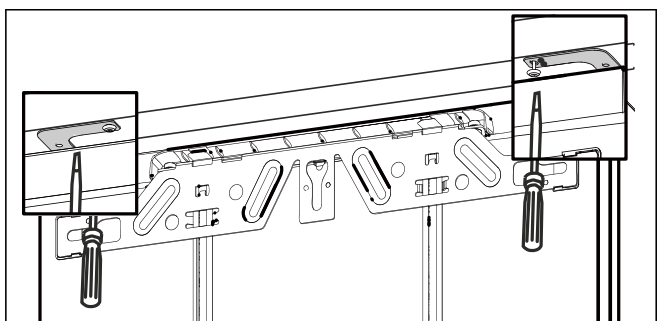
機器の設置

キャビネットへの取付

上部固定の場合

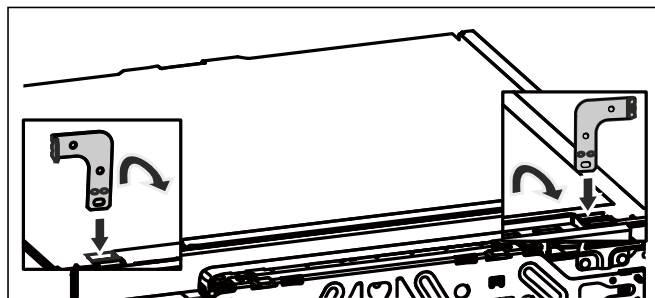


- 付属のブラケットを図のように機器上面のホルダーに奥まで差し込み、手前に曲げてください。

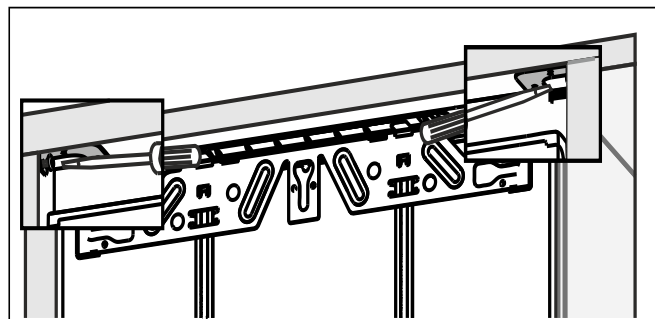


- 折り曲げたブラケットとキャビネット天面をビス留めしてください。

側面固定の場合



- ブラケットの片側を曲げてください。曲げなかった方を図のように機器上面のホルダーに奥まで差し込んでから手前に曲げてください。



- 折り曲げたブラケットとキャビネット側面をビス留めしてください。

ドア吊元の交換

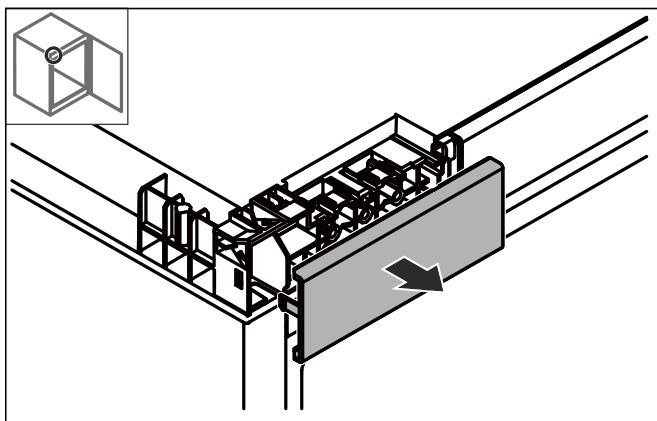
安全上の注意

- ドアの取り付けが正しく行われないと、けがの恐れがあります。
- ドアヒンジの交換は、必ず専門の業者に依頼してください。
- ドアの破損や落下には十分ご注意ください。

使用工具

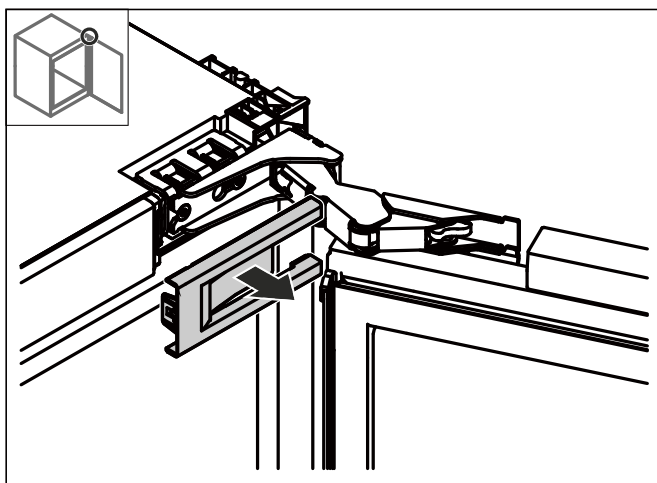


1. 吊元カバーの取り外し



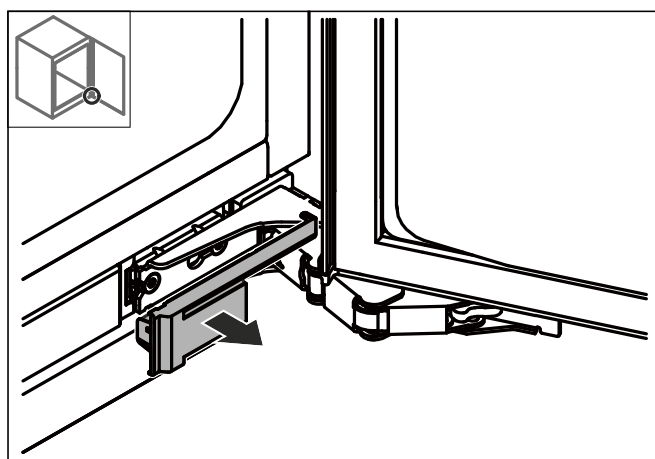
(図1)

- ドアを開き、機器側上部の戸先側のカバーを取り外します。



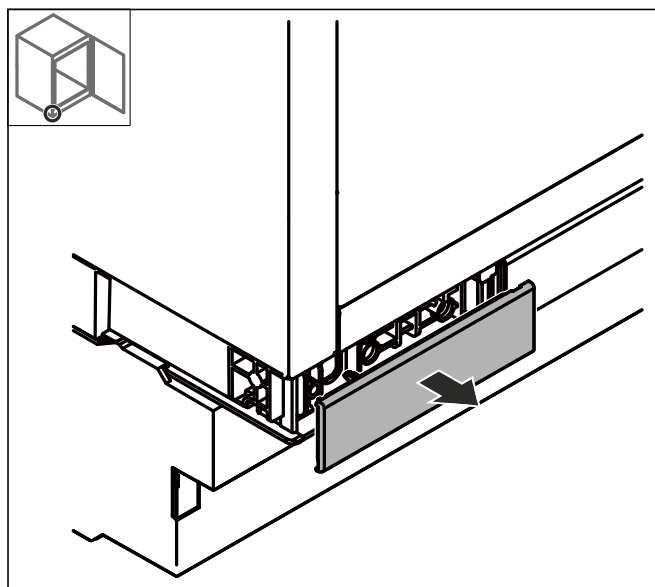
(図2)

- 反対側上部の吊元側カバーを取り外します。



(図3)

- 機器側下部の吊元側のカバーを取り外します。



(図4)

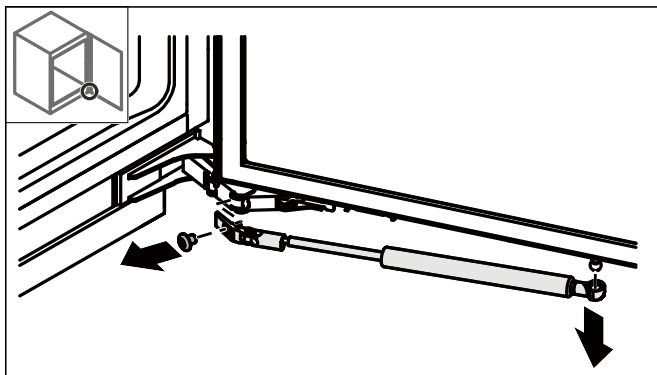
- 反対側下部の戸先側カバーを取り外します。

ドア吊元の交換

2. ドアの取り外し

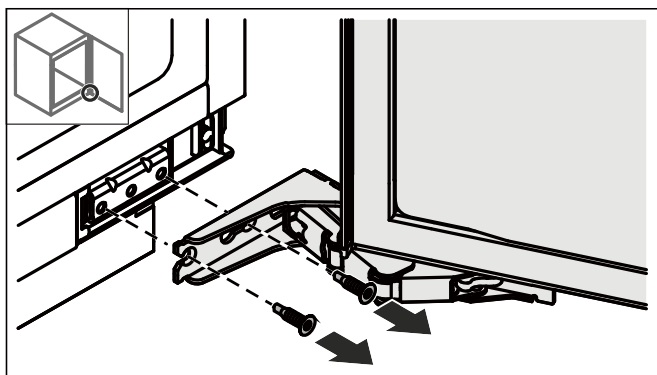
⚠ 注意

扉が倒れると怪我の恐れがあります。必ず扉をしっかり支えながら取り外してください。



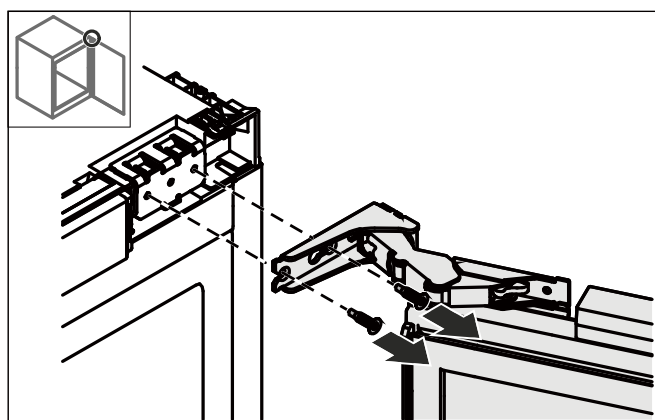
(図5)

- ダンパーの先端部分を下方に引き、ボールピンから取り外します。
- 機器下部に取り付けられているダンパーのネジを緩め、取り外します。
- ダンパーを取り外します。



(図6)

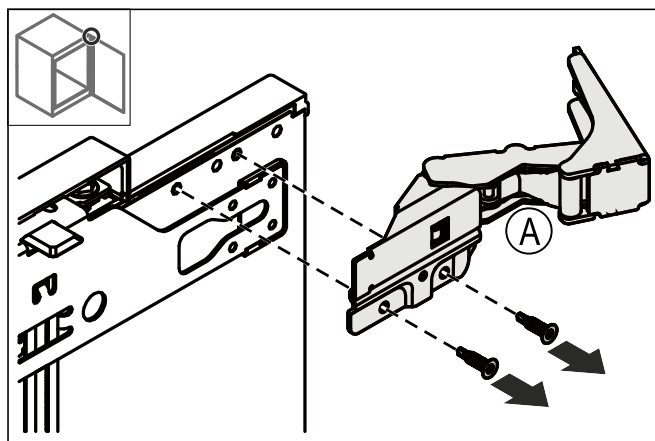
- 機器下側のヒンジのネジを緩め、取り外します。



(図7)

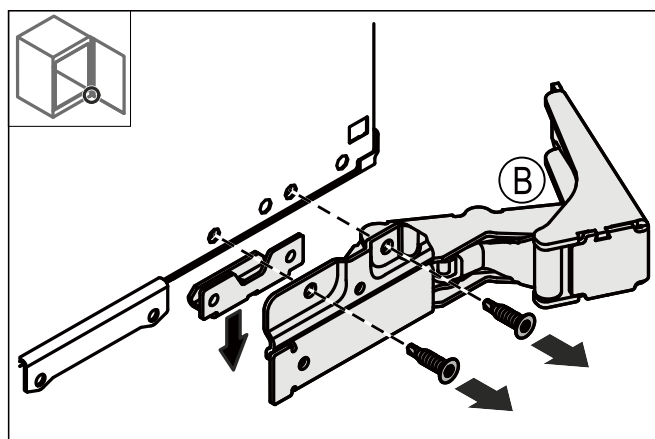
- 機器上側のヒンジのネジを緩め、取り外します。
- ドアを慎重に取り外します。

3. ヒンジの取り外し



(図8)

- ドア上部のヒンジ固定ネジを緩めて取り外します。
- ドア上部のヒンジAを取り外します。

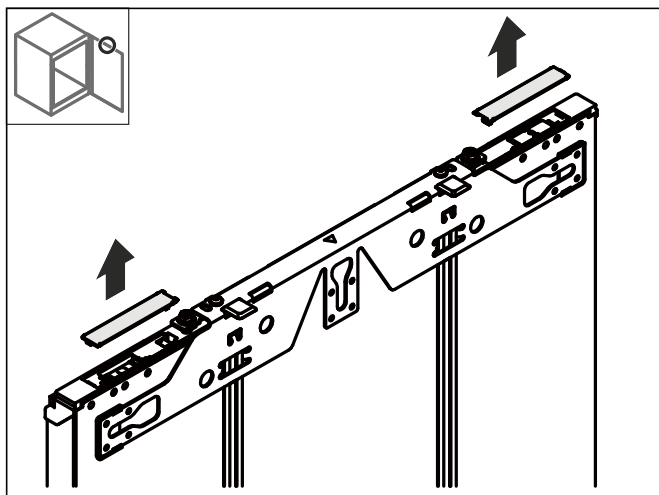


(図9)

- ドア下部のヒンジ固定ネジを緩めて取り外します。
- ドア下部のヒンジBとブラケットを取り外します。

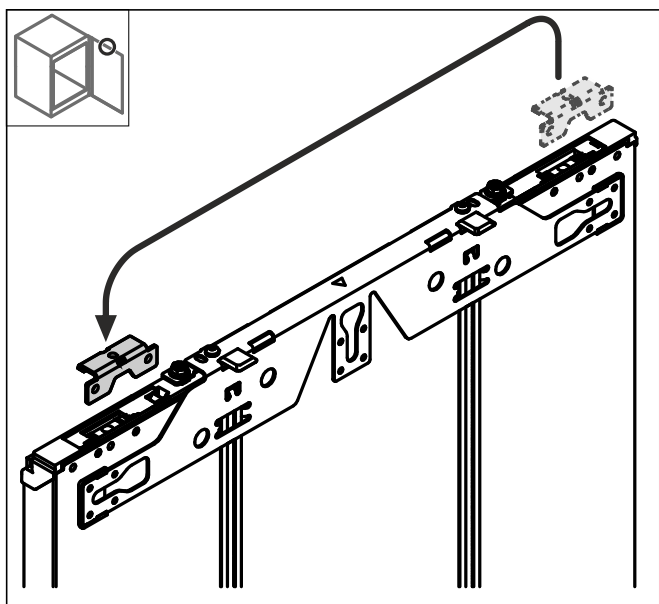
ドア吊元の交換

4. ヒンジ取り付け金具の付け替え



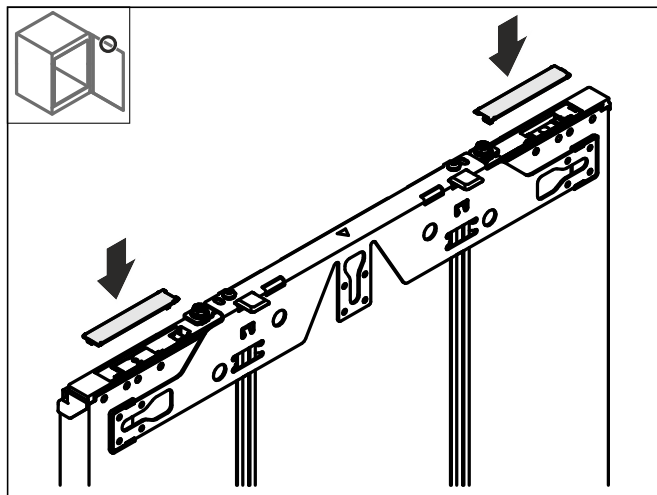
(図 10)

- 本体ドアの上部から金具カバーを抜き取ります。



(図 11)

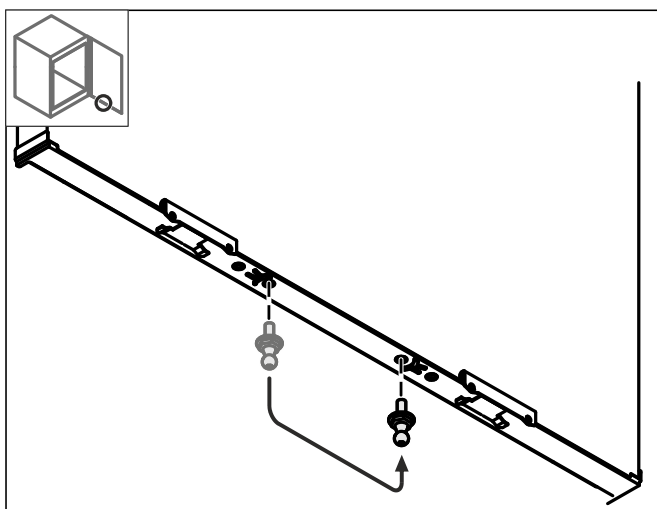
- 吊元側のドア上部からヒンジ取り付け金具を取り外します。
- ヒンジ取り付け金具を新しい吊元側に取り付けます。



(図 12)

- 金具カバーを取り付けます。

5. ボールピンの付け替え

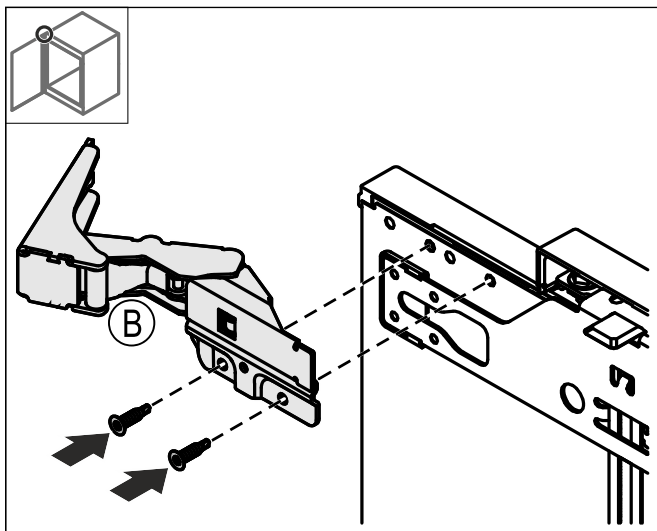


(図 13)

- ドア下部に取り付けられているボールピンを取り外し、反対側に付け替えます。

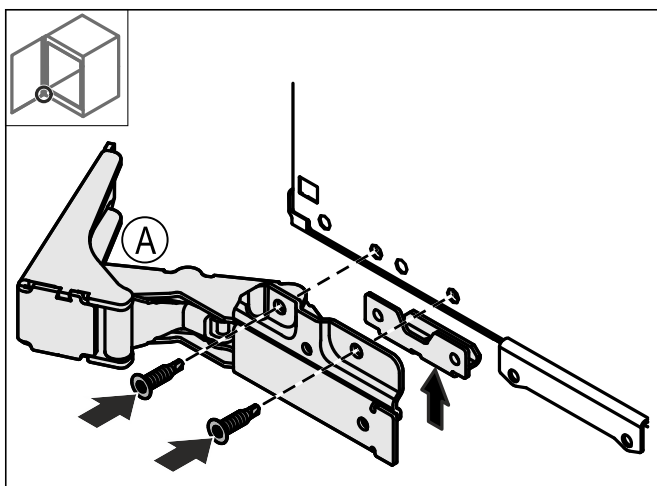
ドア吊元の交換

6. ヒンジの取り付け



(図 14)

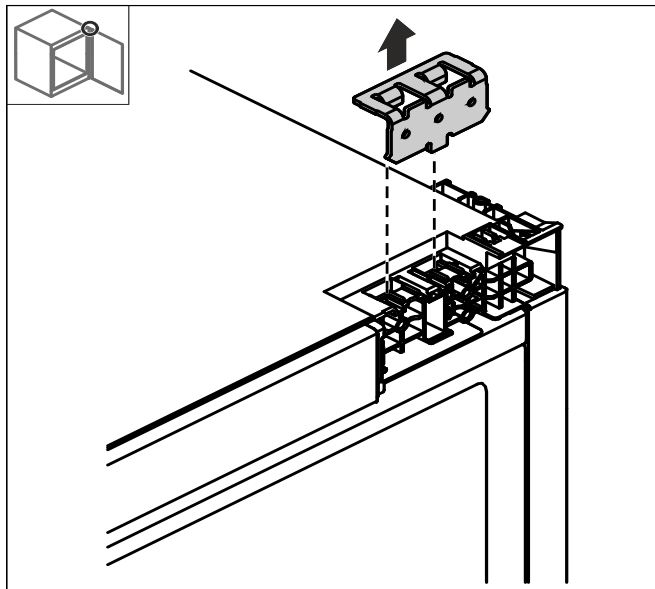
- 図 9 で取り外したヒンジ B を 180 度回転させ、新しい吊元側の上部に取り付けます。



(図 15)

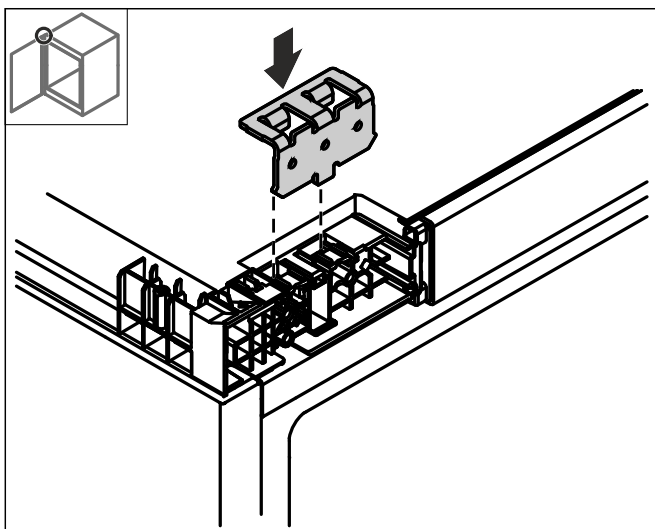
- 図 8 で取り外したヒンジ A を 180 度回転させ、図 9 で取り外したブラケットをあてがいながら新しい吊元側の下部に取り付けます。

7. 本体上部ブラケットの付け替え



(図 16)

- 機器側上部のブラケットをマイナスドライバーを使用して取り外します。

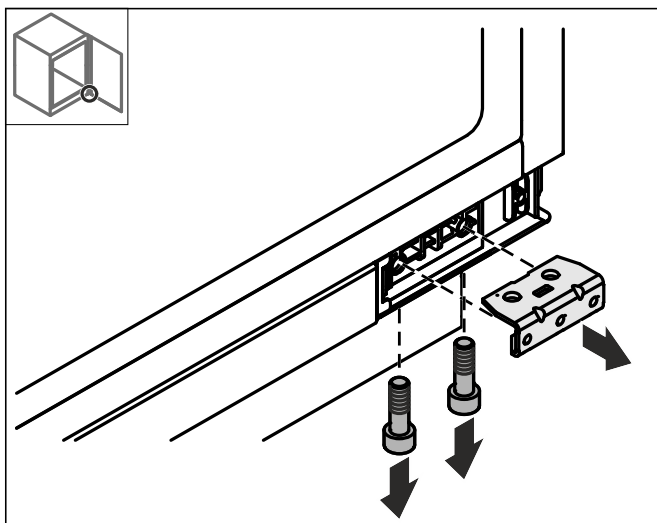


(図 17)

- 図 16 で取り外した上部ブラケットを反対側に差し込みます。

ドア吊元の交換

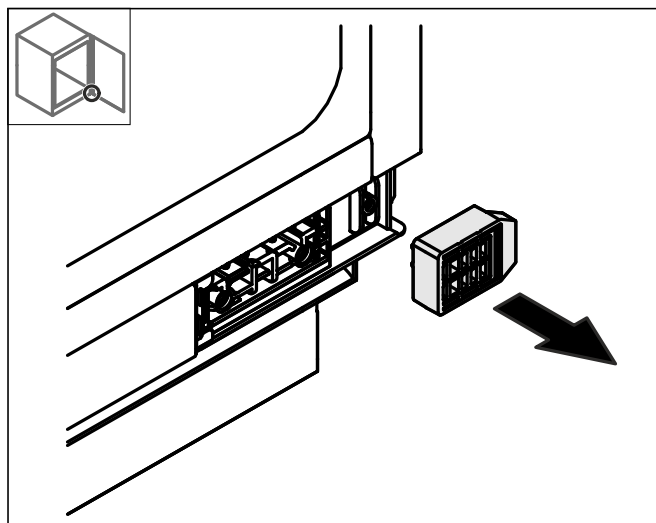
8. 本体下部ブラケットの付け替え



(図18)

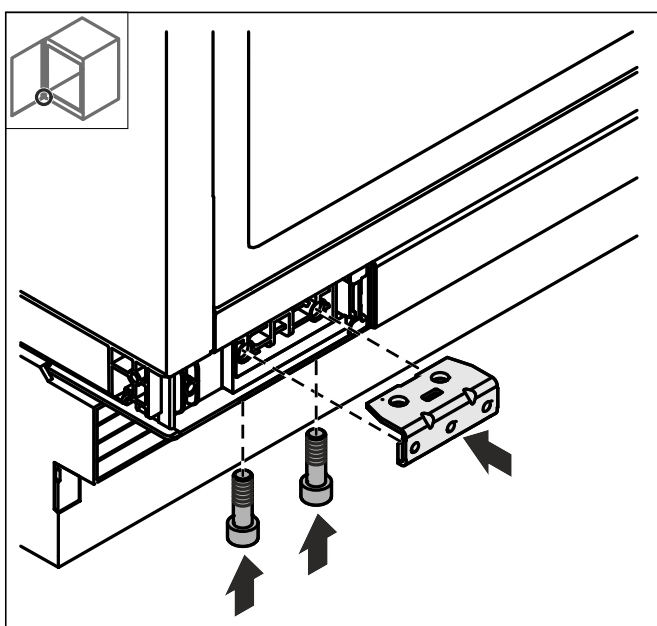
- ネジを取り外し、機器側下部のブラケットを取り外します。

9. 吊元ブラケットの付け替え



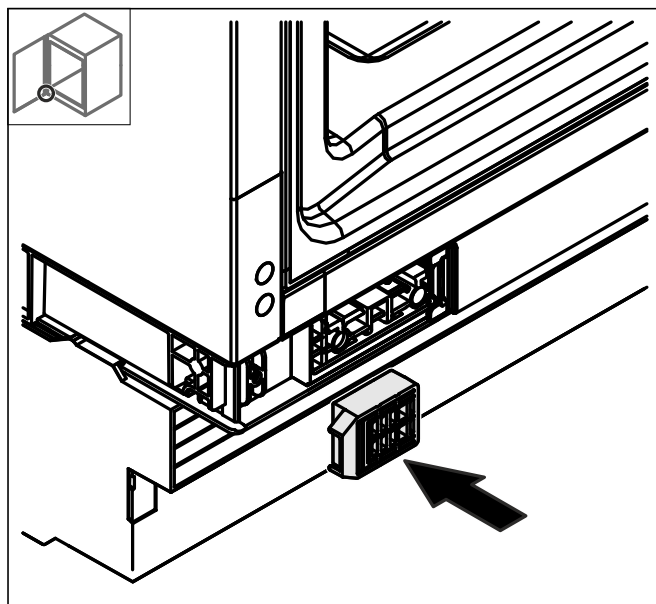
(図20)

- 機器吊元側下部のブラケットを取り外します。



(図19)

- 図18で取り外した下部ブラケットを反対側に差し込み、ネジで固定します。

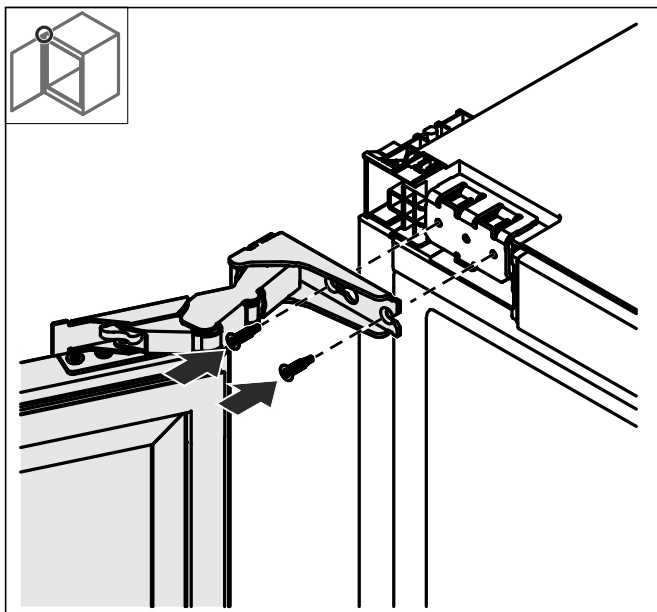


(図21)

- 図20で取り外したブラケットを180度回転させ、新しい吊元側に取り付けます。

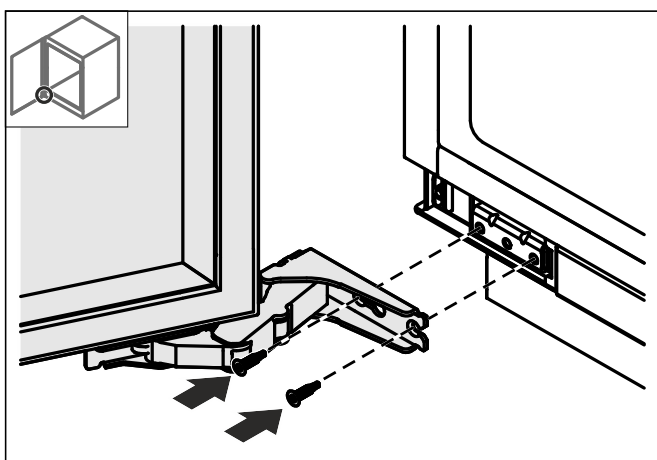
ドア吊元の交換

10. ドアの取り付け



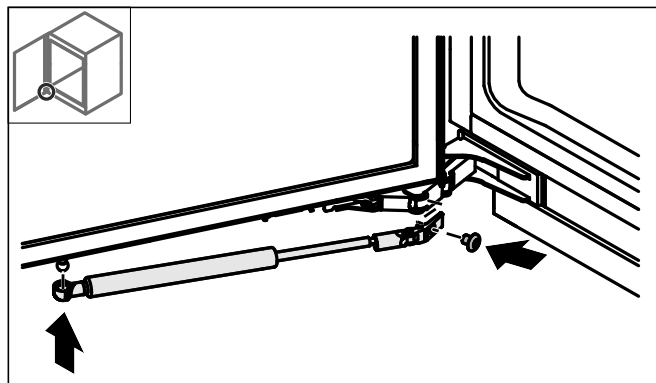
(図 22)

- ヒンジを交換したドアを本体にあてがい、上側のネジを仮留めします。



(図 23)

- ドア下側もブラケットにあてがい、ネジを仮留めします。
- ドア上下のヒンジの位置が揃っていることを確認し、上下のヒンジ固定ネジをしっかりと締めてヒンジを固定します。



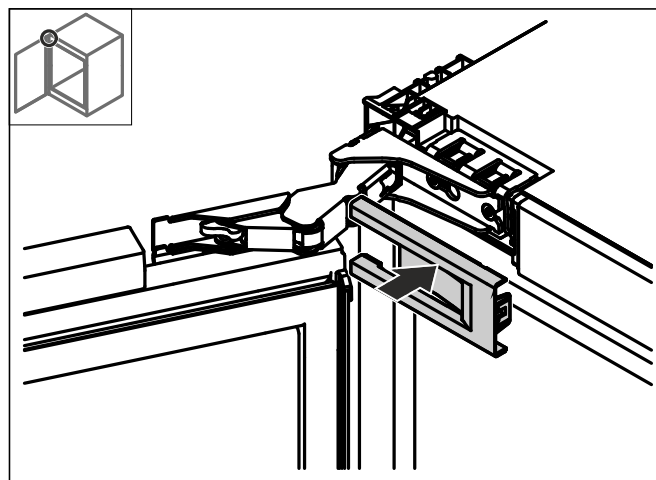
(図 24)

- ヒンジ側にダンパーをあてがい、ネジで固定します。
- ダンパーを引き伸ばし先端側をボールピンに取り付けます。

⚠ 注意

- ドアの取り付けが正しく行われないと、けがの恐れがあります。
- ドアの破損や落下には十分ご注意ください。

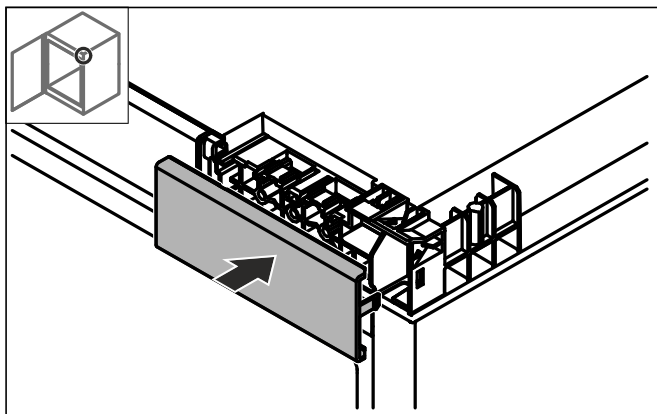
11. 吊元カバーの取り付け



(図 25)

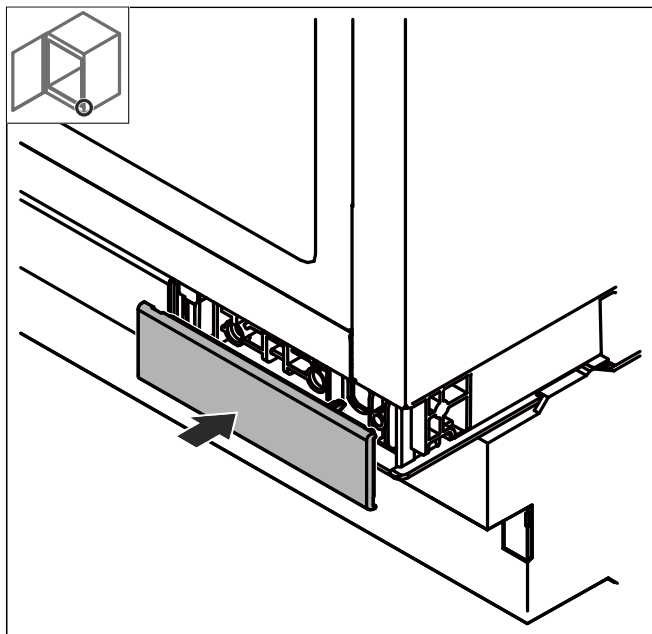
- 図 2 で取り外したカバーを180°回転させ、機器上部の新しい吊元側に取り付けます。

ドア吊元の交換



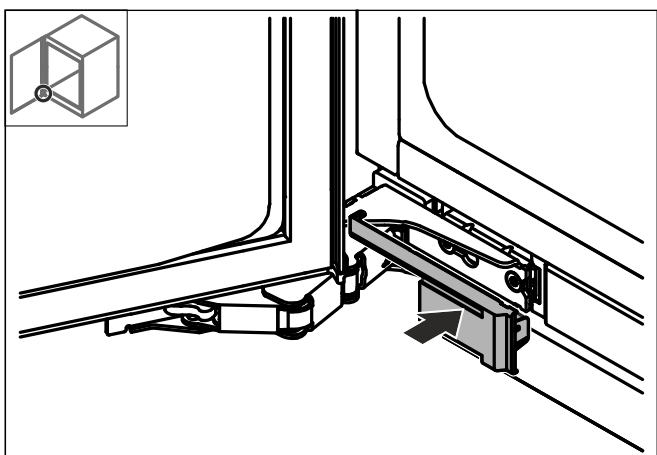
(図26)

- 図1で取り外したカバーを180°回転させ、機器上部の新しい戸先側に取り付けます。



(図28)

- 図4で取り外したカバーを180°回転させ、機器下部の新しい戸先側に取り付けます。



(図27)

- 同梱物から吊元下カバーを取り出し、機器下部の新しい吊元側に取り付けます。
(※ 図3で取り外したカバーは別途保管してください。)

- ドイツLIEBHERR社は品質・性能向上のため絶えず改良を重ねております。
- 機器の仕様は予告なしに仕様変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。



01260326

インタックSPS株式会社

〒104-0061
東京都中央区銀座7-13-5 NREG銀座ビル5F
TEL: 03-6264-2970 FAX: 03-6264-2973
E-mail: info@intac-sps.co.jp
Web: www.intac-sps.co.jp

<お問い合わせ フリーダイヤル>



0120-915-546

【受付時間】

9:30～17:30（土日・祝日・夏期・年末年始の休業期間を除く）